

平成27年度 東京大学オープンキャンパス研修報告

日時：平成27年8月5日（水）～6日（木） 1泊2日

場所：東京大学 本郷キャンパス

参加者：本校生徒 1年生1名，2年生3名 3年生1名（計5名）

引率：教諭 久留飛邦訓 PTA副会長 長松幸子

- ・基町高校、安佐北高校と合同での研修。
- ・基町高校の参加生徒数13名、安佐北高校の参加生徒数5名

【スケジュール】

8月5日（第1日目）

8：00 JR 広島駅 新幹線口2Fコンコース集合

出発式，基町高等学校校長による挨拶に続き，各教諭・PTA引率者の紹介
早朝にも関わらず，日浦校長先生，大前先生が見送りに来て下さいました。

8：57 広島駅発 のぞみ10号 東京駅着12：53（車中にて昼食）

13：30 東京メトロ丸の内線に乗り換え，ホテル機山館へ
フロントに荷物を置いてすぐ東京大学本郷キャンパスへ出発。
赤門前で集合写真撮影。

～17：00 東京大学本郷キャンパス見学

18：30 夕食

19：30 先輩との座談会

8月6日（第2日）

7：00 朝食

8：00 ホテル出発

受付 各自でオープンキャンパス見学

16：00 赤門前集合

ホテルで荷物を受け取り

17：30 東京駅発 のぞみ55号 広島駅着21：31

21：40 日浦校長先生，奥本教頭先生による激励。解散。



【実施内容・感想】

全国各地で猛暑が続いていましたが，5日の東京は最高気温35.2℃，6日は35.9℃と大学の中の木陰に入ってもむわぁ〜っと熱い風が流れていました。汗がとまらず，食堂に入って涼もうと思っても高校生の熱気でエアコンが全くきいていないように感じました。そんな中で東大名物の『赤門ラーメン』を食べ，真赤なつゆの中にある麺をすすると，口が少しヒリヒリ。またまた汗が噴き出しました。





東大赤門前

初日、約4時間の新幹線の中で課題をする生徒の姿。また、これから見る憧れの大学、そして先輩の話を楽しみに仲間同士で話がはずみます。東京駅に着き、ものすごい人ごみの中、地下鉄への乗り換えに先生から「しっかりついて来いよ!」。離れながら走って追いつく、慣れない場所にきつと気疲れしたことでしょう。やっと、ホテルに到着後すぐに赤門へ。笑顔でハイチーズ! 17時まで 本郷キャンパス内を各自見学しました。

レトロな建物が並び、東大のシンボル『銀杏』の木が安田講堂に向かってずっと植えてあり、蝉の鳴き声に包まれながら散策しました。秋は、黄金色の銀杏並木がきつと素敵でしょう! また、来てみたいものです。

生徒は、広いキャンパスの中をずっと歩いてきたようで、赤門に集合したときは汗びっしょりで疲れ果てていました。

安田講堂



ホテルに帰ってゆっくりシャワーを浴び、汗をかいた制服を脱ぎ、リラックスした服装で卒業生を迎え、一緒に夕食をとりました。待ちに待った卒業生との対面です。が、緊張からか、生徒たちは急に無口になってしまいましたが、卒業生の方から話しかけてくれたのですぐに打ち解けることができました。

夕食後は、舟入高校の卒業生3名の他、基町高校の卒業生、安佐北高校の卒業生を合わせ総勢10名の現役東大生と座談会の始まりです。テーブルの配置を5グループに分け、1グループに東大生2人、高校生4~5名に別れて座りました。1グループ持ち時間20分で5回ローテーションしましたから、生徒は全員の東大生と話をしたことになります。同じ質問をしても違う答えが聞けたので大変参考になったようです。「大学生活の一日を教えてください。」「クラブやサークルに入っていますか? 楽しいですか?」「高校2年生の夏はどんな勉強をしていましたか?」「高校3年生の模試の成績はどれくらいでしたか?」「バイトは何をしていますか?」などの質問に、先輩は「勉強はしないといけないけどすごく楽しいよ。」「講義してくれる教授が世界的に有名な人だったりして、すげえっ! て思う。」「一つのことを絶対忘れないと思えるまで同じことを3日ぐらい続けてやった」「古文、漢文は、単語帳や口語を覚えたら、すぐ結果が出るから絶対やった方がいい。」など具体的に答えをしてくれたので、昼間の疲れなどを忘れ、ずっとメモを取っていました。思わず親の私まで「家賃はいくら?」「いくら仕送りしてもらっているの?」と質問してしまうぐらい話しやすい学生たちでした。(ちなみに、家賃は6万~7万円、仕送りは、ゼロ~5万円ぐらいであとは、バイトで賄っている学生が多かったです。やはり都内は物価が高いですね)



一番印象に残ったのは、生徒の「気を付けることは?」の質問に、「**恋愛とクラブは、勉強の邪魔にならないが、スマホは邪魔になる**」とはっきり言いきったことです。生徒たちは、うんうん、うなずいていました。一人の先輩は、「自分たちの頃は、まだスマホが普及していなかったの、もし今受験生だったら、合格していたかどうか自信がない」とまで言っていました。この言葉は、親の私たちも考えさせられる言葉でした。

座談会の後、生徒は「来てよかったです」「迷っていたがやっぱりがんばります」「やる気が増しました」など、久留飛先生に次から次に決意を述べていました。先輩も「後輩が来てくれて非常にうれしい」「少しでも役に立ててよかった」「来年はみんながこちらに座って説明しているよ、きつと」など座談

会終了後もロビーで会話が弾んでいました。

二日目のオープンキャンパスは、9時30分受付開始のため、朝食を済ませ各自でホテルを出発し、受付に並ぶことになりました。各学部の説明会に参加したり、個別相談を受けたりしたようです。学部ごとの具体的な生活が聞けたので昨日の卒業生とはまた違った良さがあったと言っていました。

16時に赤門前に集合すると、他県から来た、たくさんの高校生も集合しており、東大を目指す仲間がこんなにいるのだと実感しました。さすが東京大学です。舟入生も「絶対入学したい!」と、モチベーションがあがっている姿を見ると、なんとか頑張ってみんな合格して欲しいと心から願いました。

帰りの新幹線では、今回の研修の感想や得たものを記入し先生に提出しました。その後はぐっすり眠っていました。

広島駅に到着して舟入生だけで集合し、日浦校長先生より挨拶があり、「今回の研修での経験をこれだけにしておくのではなく、今後どう生かすかは君たち次第である」と激励がありました。生徒たちは、噛みしめるように話を聞き、奥村教頭先生に「お疲れ様、気をつけて帰りなさいよ」と声を掛けてもらい解散となりました。



今回参加した生徒全員が「来てよかった!」と言っています。PTA主催のこの東大オープンキャンパス研修がとても有意義に終わったことを実感しております。必ずしも東大を目指す生徒が参加するとは限りません。結果、東大を目指さずとも、日本一といわれる大学と学生に触れ、自分を振り返ることができるこの二日間は、人生においても貴重な時間となり、自信に繋がるのではないのでしょうか?百聞は一見にしかず、です。保護者の皆様にも、より多くの子供さんの参加をお勧めしたいです。

最後になりましたが、この研修の準備していただきました進路指導の先生方、引率して下さった久留飛先生をはじめ基町高校、安佐北高校の諸先生方に、ご協力いただきましたこと厚く御礼申し上げます。また、来年も沢山の生徒が参加することを願っております。

以上



PTA副会長 長松幸子